



栃木県全般における関係機関との連携

栃木県建設業協会では、県民の生活と経済活動の基盤であるインフラの整備、災害時における緊急対応・復旧復興活動など、地域の安全・安心を守る為に様々な訓練を行っています。訓練は、国・県・市町、関係機関との連携を密にした内容で災害時の迅速な活動を行っています。

『5機関による合同情報伝達訓練』

国土交通省 関東地方整備局・防衛省 陸上自衛隊・栃木県・栃木県警察・栃木県建設業協会

東日本大震災の教訓を生かし、より効果的な社会資本の早期復旧のための協力体制を強化するべく、平成25年5月に県内防災関係5機関による初の「合同情報伝達訓練」を実施しました。

以降、栃木県庁にて毎年実施される「大規模災害時における公共土木施設の復旧体制に関する連携会議」では、災害発生時に備えた官民一体の情報共有を行っています。



『家畜伝染病の発生時等における防疫対策への協力』

当協会では、災害対応のほかにも、県内において鳥インフルエンザならびに口蹄疫が発生した場合には、被害の拡散を防止し事態を収拾するため、栃木県と「家畜伝染病の発生時等における防疫対策への協力に関する協定書」を締結し、官民連携して対応することにしています。毎年、そのための実地講習会にも参加し勉強しているところです。



『栃木県・大田原市防災訓練』

平成29年8月27日、大田原市中田原工業団地（那須赤十字病院隣）で開催した、栃木県・大田原市防災訓練には、福田富一栃木県知事、津久井富雄大田原市長など各機関トップの方々のご出席をはじめ、国・県・市等の行政機関や地元消防団、関係団体、関係機関など、89団体・約1,400名が参加し、本番さながらの訓練が行われました。



総監を務める
福田富一
栃木県知事



訓練本部長を
務める
津久井富雄
大田原市長



栃木県建設業協会 那須支部等による
『道路啓開訓練』陸上自衛隊の車両に瓦礫を載せる撤去作業



栃木県建設業協会 那須支部等による
『瓦礫等除去訓練』救助・救援活動を妨げる倒壊家屋などの撤去作業